

江戸・浅草の過去・現在・未来

— 将来像・都市づくりのための基礎情報の共有を —



浅草北部編

台東区は、隅田川の氾濫原である下町低地に含まれる東部と、山の手台地の先端部にあたる西部から構成される。

中世までの東京東部は、利根川水系と直結する河川が多数流れ込む湿地帯に江戸湾（東京湾）が深く入れ込む地形で、浅草は海と接する河口部に位置していた。

(台東区史災害の背景より)

海面上昇による影響 古代の台東区は！



浅草未来フォーラム 田中好雄

地球環境問題コミュニケーター/ファシリテーター、環境省 環境カウンセラー

江戸湾[東京湾]に注いでいた利根川

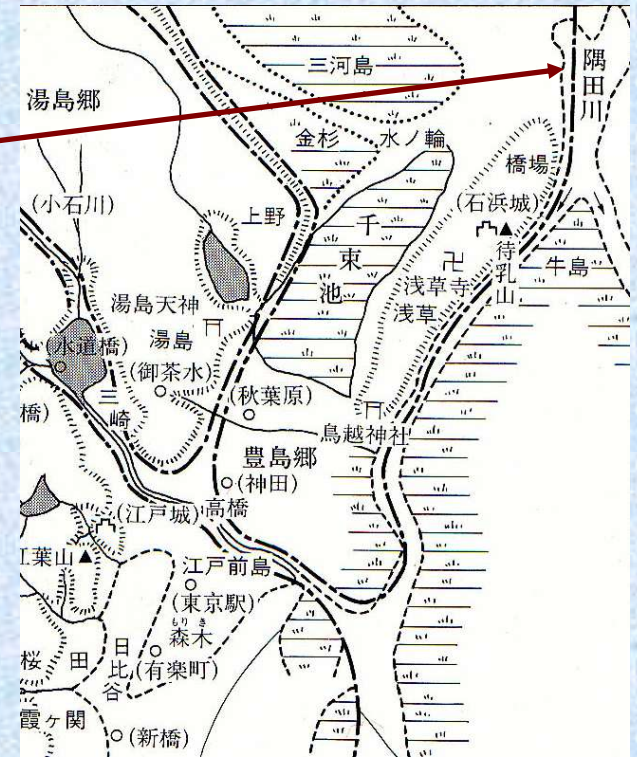
今から400年以上前、利根川が江戸湾に注いでいた。

上州奥利根から流れ出る利根川は古河(こが)あたりに渡良瀬川と思川を合わせ、まっすぐ南下して江戸湾にそそいでいた。

途中で荒川、綾瀬川、吉川、入間川などを合わせ、河口は隅田川、中川の流路でテルタ地帯であり、今の墨田区大半、江東・葛飾・江戸川区はテルタの浮島か海中にあった。

荒川区南千住の汐入は、利根川と入間川の合流地点であり、中世の河口であったことを物語る自然の海浜が残っている。

江戸湾は奥深く三角形に入り込んで、江戸湾そのものが利根川の延長にあっていた。



江戸の都市計画事業、インフラ整備

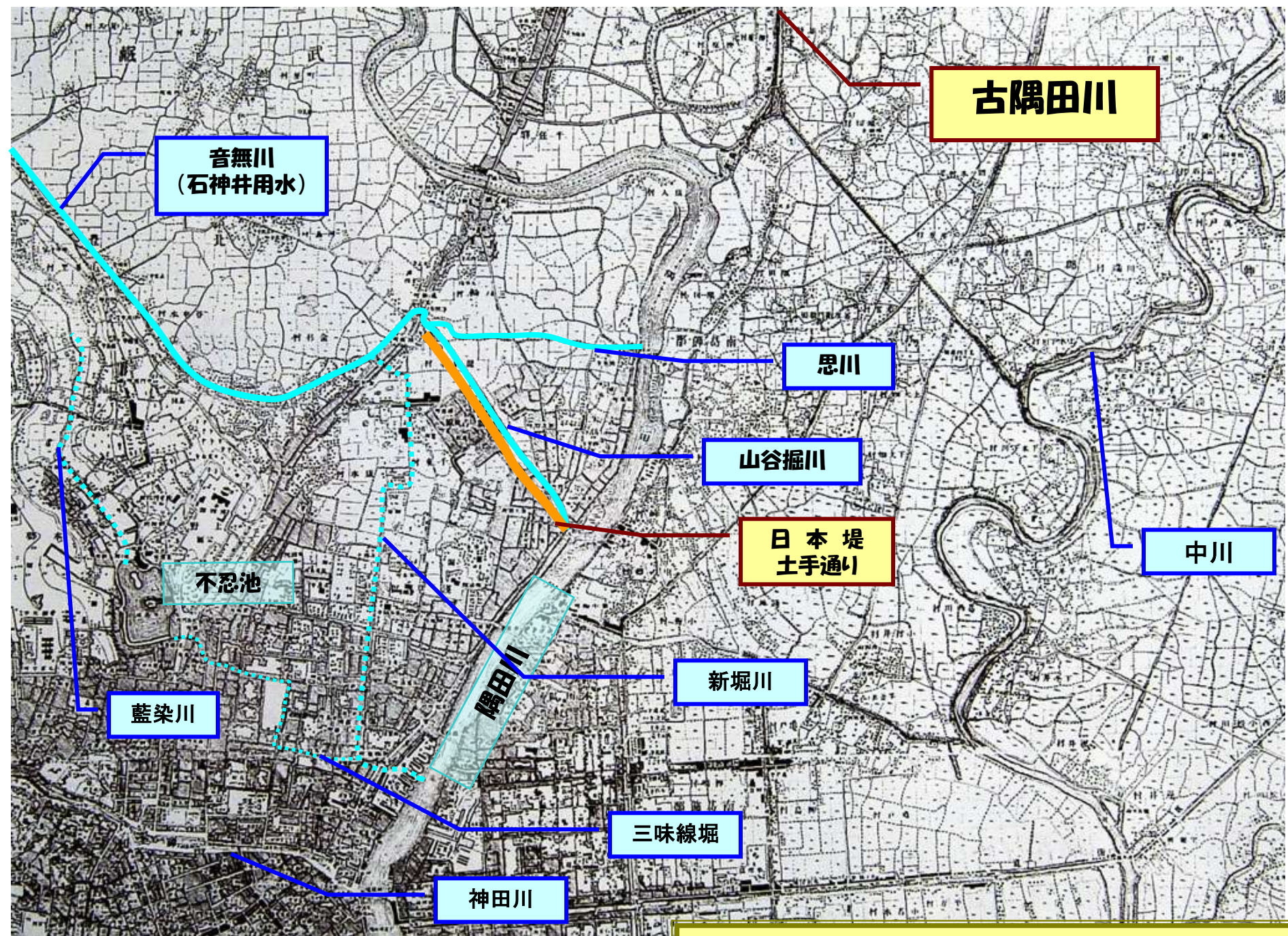
ー交通インフラ整備 利根川の東遷・荒川の西遷事業ー

古来、利根川は太平洋ではなく、江戸湾（現在の東京湾）に注いでいました。現在の
ような流路となったのは、数次に渡る瀬替えの結果で、近世初頭から行われた河川改
修工事は利根川東遷事業と呼ばれ、徳川家康によって江戸湾から銚子へと流路を替える
基礎がつけられました。 東遷事業の目的は、

- ①江戸を利根川の水害から守る（治水）
 - ②新田開発を推進する（利水）
 - ③舟運を開いて東北と関東との交通・輸送体系を確立する
- などに加えて、④東北の伊達政宗に対する防備 の意味もあったといわれています。

東遷の工事は、当時栗橋付近から江戸湾に流れていた利根川の流れを東に移し、台地
を切り通して赤堀川としたほか、常陸川と多くの湖沼を結びつけて銚子に流すもので
した。 天正18年（1590）に江戸に入った徳川家康は、関東郡代に伊奈備前守忠
次を任命、利根川東遷事業を行わせました。事業は文禄3年（1594）から60年の歳
月をかけて、忠次から忠政、忠治と受け継がれ、承応3年（1654）に完了。これに
よって、わが国最大の流域面積を誇る河川が誕生したのです。

+ 荒川の西遷事業： 秩父との交通・輸送体系を確立する舟運



古隅田川

音無川
(石神井用水)

恩川

山谷掘川

日本堤
土手通り

中川

不忍池

藍染川

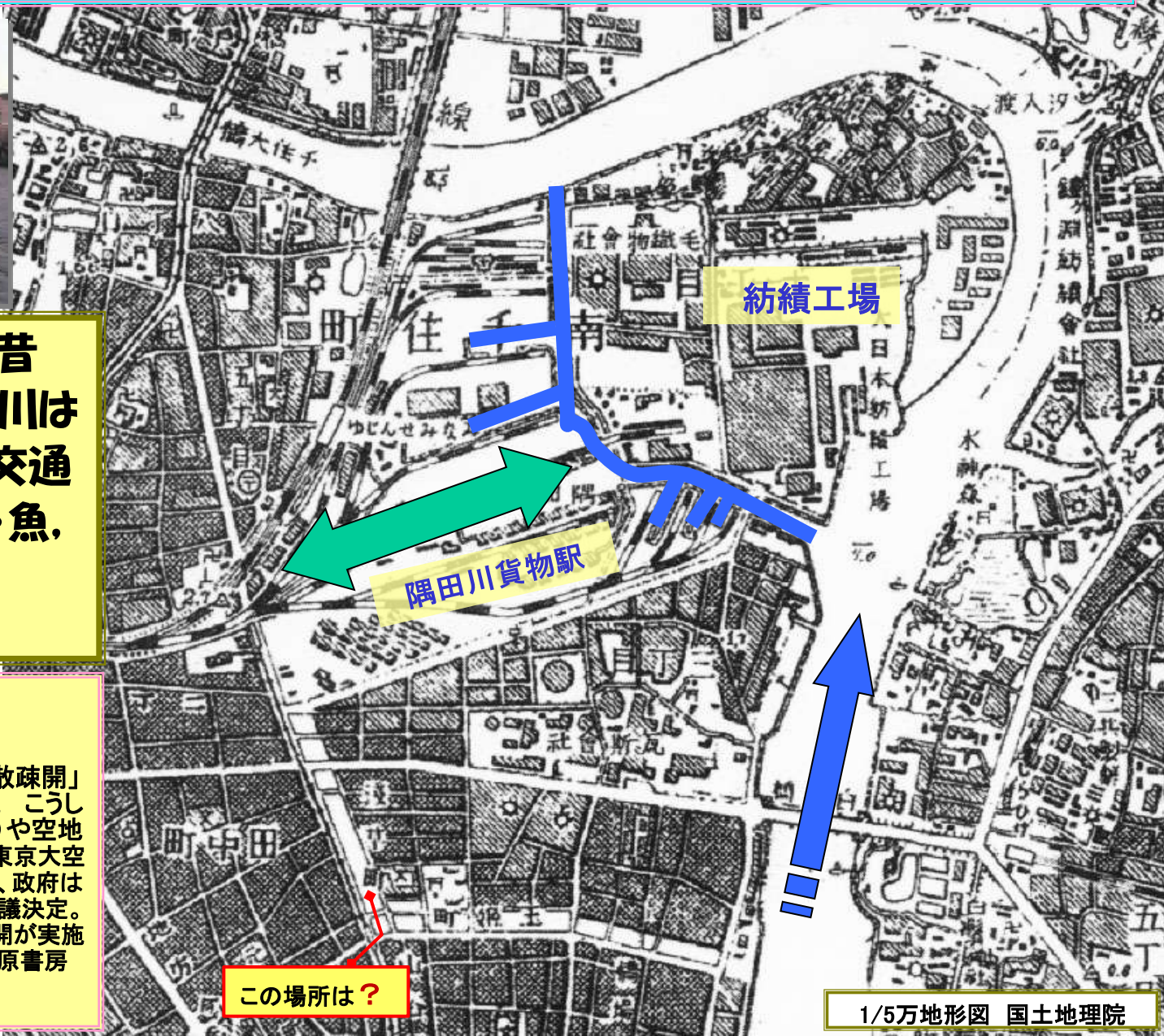
新堀川

三味線堀

神田川

明治17年頃 「地図で見る東京の変遷」 日本地図センター

南千住 隅田川貨物駅周辺（昭和20年～27年頃） 河川の舟運（水運）と鉄道（陸運）のリンク



隅田川の役割 今昔
江戸時代以前から川は
大動脈、舟は輸送・交通
機関、米・木材・塩・魚、
石炭・原材料等
剣客商売人も..

昭和19年の疎開地帯

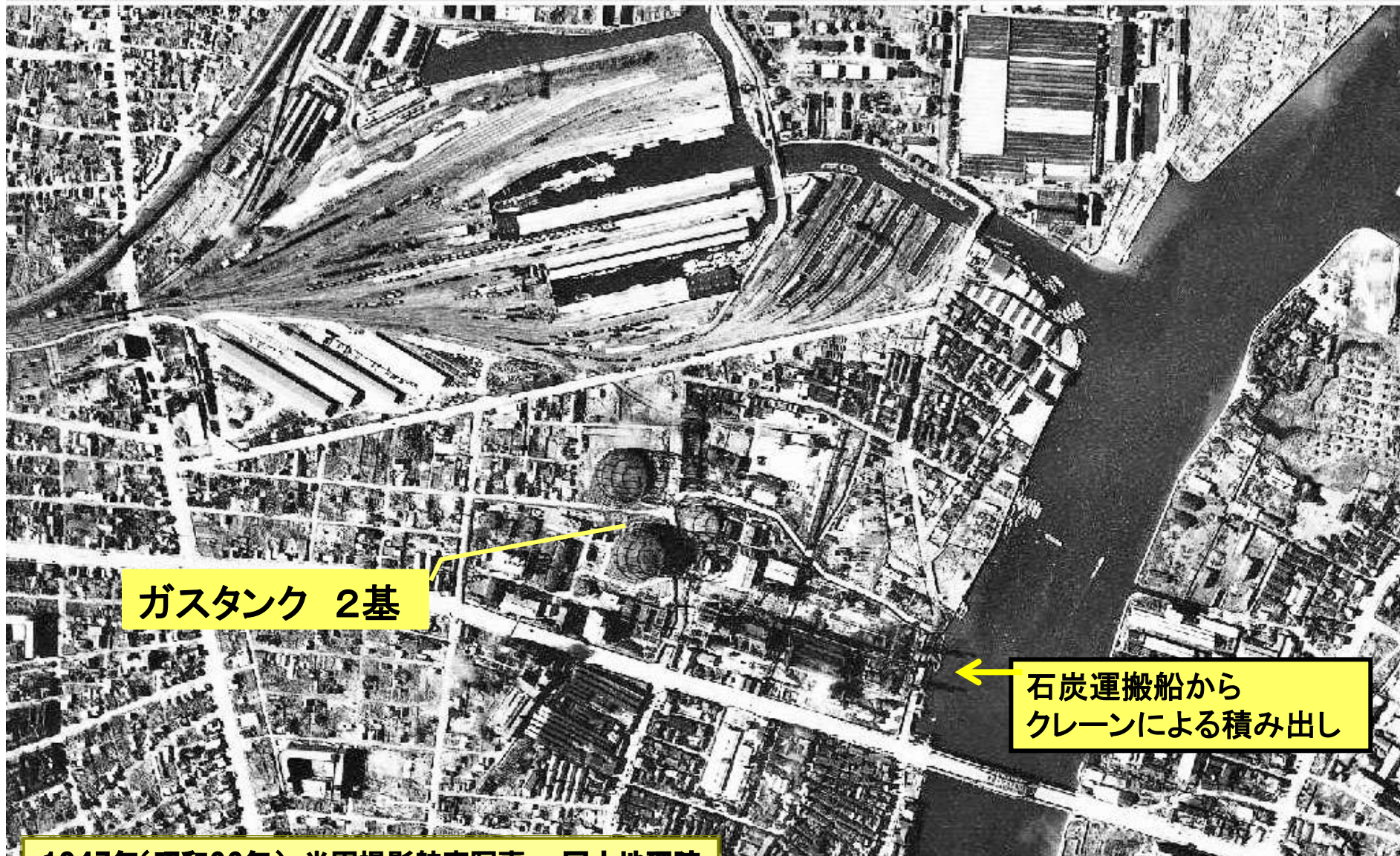
43年改正防空法で、「建築物ノ分散疎開」一般にまで拡大されたものである。こうして、都市部に防空空地（疎開空地）や空地帯（疎開空地帯）が設けられた。東京大空襲で下町が焼け野原になった五日後、政府は「大都市における疎開強化要綱」を閣議決定。これに基づき、第六次の建物強制疎開が実施される。（浄法寺朝美『日本防空史』原書房

（昭和20年～27年頃）

この場所は？

南千住 隅田川貨物駅周辺（昭和22年） ガスタンク（円筒型） 隅田川を利用した石炭の舟運

国土変遷アーカイブ 空中写真閲覧



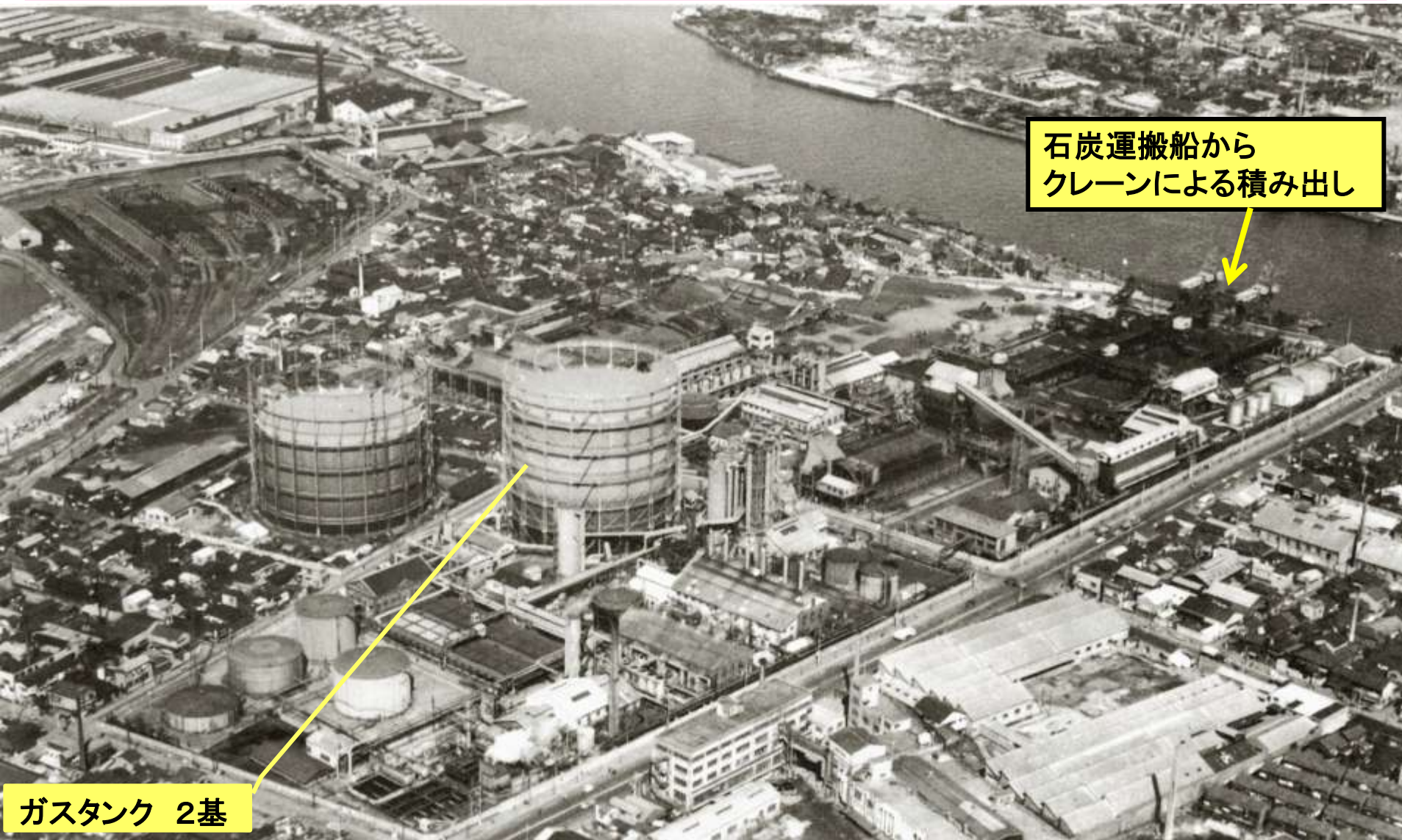
ガスタンク 2基

石炭運搬船から
クレーンによる積み出し

1947年(昭和22年) 米軍撮影航空写真 国土地理院

南千住ガスタンク（東京ガス千住工場周辺）（昭和40年）

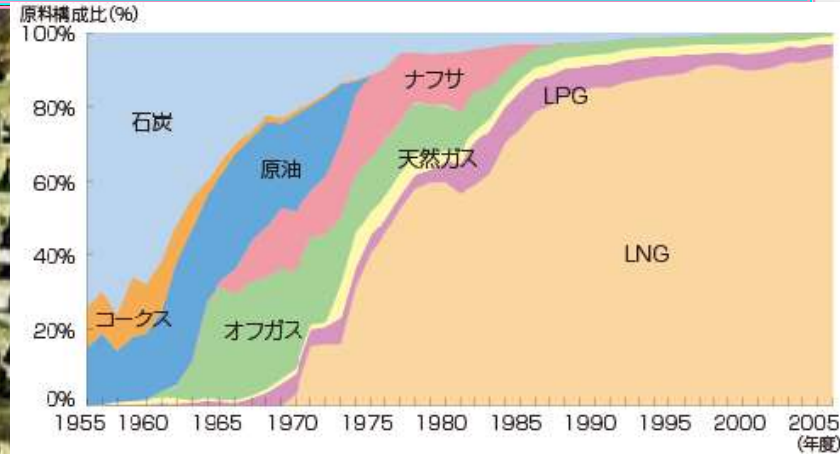
隅田川を利用した石炭の舟運



石炭運搬船から
クレーンによる積み出し

ガスタンク 2基

南千住 隅田川貨物駅周辺 ガスタンク（円筒型） 石炭 から原油, LNG（球状）に！



球型ガスタンク 3基

1974年(昭和49年) 国土地理院撮影航空写真

**私たちのまち・台東区は
皆様方がいちばん良く知っています。
江戸時代からの 歴史を振り返り
現在を通して 未来を考えましょう！**

From The Past To The Future Through The Present !

**温 故 知 新
過去に未来を照らす光を**

**区民・議会・事業者・行政との協働で
『新しい台東区のまちづくりを！』**